

2019年度 事業報告書

1. 個人旅行・インバウンド観光を促進する地域ブランディング事業

～「重点道の駅」「宿泊施設」等の連携強化によるサービス向上～

(高速道路利用・観光・地域連携推進プラン 2019年度・2020年度・2021年度事業)

団体旅行から個人旅行への旅行形態の移行、インバウンド観光の市場規模拡大を念頭に、集客拠点である「しまなみ海道」沿線の「重点道の駅」等での情報発信、休憩機能を強化する取り組みを行った。サイクリストへ安全で快適に周遊できる環境、サービスのネットワーク化を精査し、今期は自転車のメンテナンスの対応に役立つマニュアルを作成した。また、広域ルートの中継地点として、宿泊者が増加する今治市中心市街地を含む「はまかぜ海道」沿線に立地する当会保有のゲストハウスと市内の宿泊施設との連携を強化し、滞在者の満足度を向上する施設づくり、コンテンツづくりに取り組んだ。

① サイクリングマップ「島走マップ」シリーズの英語化

サイクリングの際、地図は必需品である。スマートフォンの地図を活用する愛好者もいるが、紙媒体で電波状況を気にせず確認できるマップの利便性は高い。外国人が事前にしまなみサイクリングの情報を収集できるマップ、また安心して現地走行できる携帯マップは存在しない。シリーズ化された「島走マップ」の英語化を進め、実際に来訪する外国人サイクリストに活用いただいた。

(1) とびしまマップ(英語版)の発行

既存情報の見直し、外国人サイクリストに訴求する観光情報の収集を進めた。英語への翻訳、デザインワークを行い、印刷・発行した。



(2) いしづち島走マップ(日本語)の発行

瀬戸内周遊を支援する媒体として必須のエリアとなっている「今治・観音寺(高松)」のルートマップ(日本語版)を作成した。



今治市への観光入込客数の内、外国人宿泊者はここ5年で16,000人増加している（2018年27671人/2014年11629人）。早急なインバウンド対応が求められる中、島走マップ「とびしま版」の英語化はニーズに合致した発行物となった。発刊にあたり、従来の購読者層である日本人が併用で使える仕様を目指した。印刷部数を勘案してのものである。「とびしま版」英語化マップ（日本語併記版）を手にとった外国人サイクリストから「使いやすい」と好評だ。外国語が不要な日本人も、従来通り、不便なく使えるとの意見をいただいた。成果物への手応えを感じている。シリーズ化を深化する中で、必要なエリアである「いしづち版」は日本語版が発刊でき、今後の英語化の準備が整った。

② サイクルクルージングのブランド化

サイクリングと船を組合せたツアーを催行した。船会社と連携し、島の移動に船を活用しながら、瀬戸内エリアをサイクリングする臨時船を離発着させることを通して、交通利用に留まらない船の観光利用へのイメージ転換の可能性を図った。上陸ポイントでは、島民参画のもと、体験やアクティビティをプログラム化し、交流を促した。

■アイランドホッピングツアー2019

●第1回瀬戸内スローサイクリング

「瀬戸内ブランド」のシンボル商品として、商品化することを目指し、モニターツアーとして集客を進めた。「スローサイクリング」というツアータイトルが訴求し、20歳代から70歳代まで幅広い年齢層のビギナーサイクリストの参加を得ることができた。サイクリング旅行に船を活用することで、瀬戸内ならではの海の旅が楽しめ、また行動範囲が広がる魅力がある。ブランド化にあたり、しまなみ海道サイクリングリピーターでも行ったことが少ない島への寄港を造成した。

日 時：2019年5月26日（日）

参加者：21名

運航路：＜往路＞ 波方漁港（波方）7:50 発
 = 佐木島港（佐木島）8:50 着・13:35 発
 = 小佐木島港（小佐木島）13:40 着
 ＜復路＞ 小佐木島港（小佐木島）14:10 発
 = 瀬戸田港（生口島）14:20 着・14:23 発
 = 幸港（大島）15:10 着



実線：航路・点線：サイクリング

●第2回瀬戸内スローサイクリング

2人1組で楽しむタンデム自転車の特性を活かし、ゆっくりと地域を楽しむツアーを企画し、親子、夫婦、視覚障がい者までを含む、多様な参加者の参画を促すことができた。コースの構築にあたっては、しまなみ海道リピーターが多いことが予想されたため、船の利点を活かして普段は足を延ばさないルートを設定することで、ツアーの魅力を高め集客力のアップにつなげることができた。

日 時：2020年3月22日（日）

参加者：24名

運航路：＜往路＞ 波方漁港（波方）7:50 発
 = 重井東港（因島）9:00 着
 ＜復路＞ 金山港（因島）16:00 発
 = 今治港（今治）17:10 着



実線：航路・点線：サイクリング

エリア内を自転車を楽しむスタイルに、船での移動を誰もが盛り込むことができるよう、地元の船会社と共同運行した。島々の港を利活用し、定期航路との共存を模索した。船旅を楽しみに参加した人が多く、自転車と組み合わせてアクティビティの一翼を担う効果的な移動手段として、今後の展開の可能性を感じた。また行ったことがない島々を上陸ポイントに選んだことで、リピーターからも斬新なエリア開拓への評価を得た。

③ 接客改善マニュアルの作成

トラブル時のメンテナンスを補助するマニュアルを作成した。マニュアルを活用した研修会を開催、サイクリスト受入施設のおもてなしの向上に寄与することができた。



サイクリストの聖地「しまなみ」において、旅行者とコンタクトが多い住民、施設職員が接客改善に取り組む意義を確認できた。実際に対応経験のある施設からの情報提供により、サイクリストのニーズや反応を的確に捉え、今後の地域全体での推進策の方向性を明確にする機会となった。

④ 市内回遊の誘引「自転車タクシー」の商品化

インバウンド誘致のコンテンツの一つとして、「しまなみ輪タク（自転車タクシー）」による散策ツアーを展開した。話題づくりとして、今治タオルを使った運転手のユニフォームを作る等、PRを積極的に行った。また、地域住民対象の体験会を行い、地域理解（シビックプライド醸成）の醸成を目指した。サイクルオアシス総合拠点「しまなみサイクルオアシス総合拠点 シクロの家」を介したしくみづくりへつながりたい。

「しまなみ輪タク」シーズン運行の様子

しまなみ海道へサイクリング旅行に訪れた方に留まらず、来訪者に自転車タクシーへの乗車をいただけた。地元の飲食店と連携し、夕食前の時間を利用した乗車等、多様な利用方法を提供できた。



住民向け試乗会の様子

地域住民を対象にした運行では、自転車のまちの取り組みの一つを身近に感じてもらう機会となった。とする。案内ガイドとの会話を楽しんだりする時間を通して、自転車まちづくりの一端に触れてもらう機会となった。

2019年5月6日：市内の小学生等の招待イベント





⑤ 地産食材提供の「サイクリングエコツアー」の商品化

耕作放棄地の活用した「シクロ農園」を拠点に、農産物直売・加工・「食」の交流会の商品化へ向けたモニタリングを行った。初日は今治市波方半島エリアをサイクリングし、「シクロ農園」で季節の野菜、山菜、果樹を収穫した。翌日、チャーター船で離島へ向かった。ランチタイムでは作り手である住民、ガイドが季節感ある食材の採取、調理や食べ方をレクチャー。食の関心を高める時間を楽しんだ。今後、加工、製造を通して、サイクルオアシス総合拠点「はまかぜサイクルオアシス総合拠点 なみとみなと」を介したしくみづくりを構築したい。

第1回 自然の癒しを求め瀬戸内の里山と里海を巡る『せとうちスローサイクリング』

日時：2019年5月25日（土）・26日（日）

サイクリング走行距離：1日目：約20km・2日目：約31km



第2回 自然の癒しを求め瀬戸内の里山と里海を巡る『せとうちスローサイクリング』

日時：2020年3月21日（土）・22日（日）

サイクリング走行距離：1日目：約23km・2日目：約42km



■住民交流型ツアー（担い手育成・モニターツアー）

「シクロ農園」大交流会『せとうちスローサイクリング』

日時：2019年11月9日（土）

サイクリング走行距離：1日目：約20km・2日目：約31km

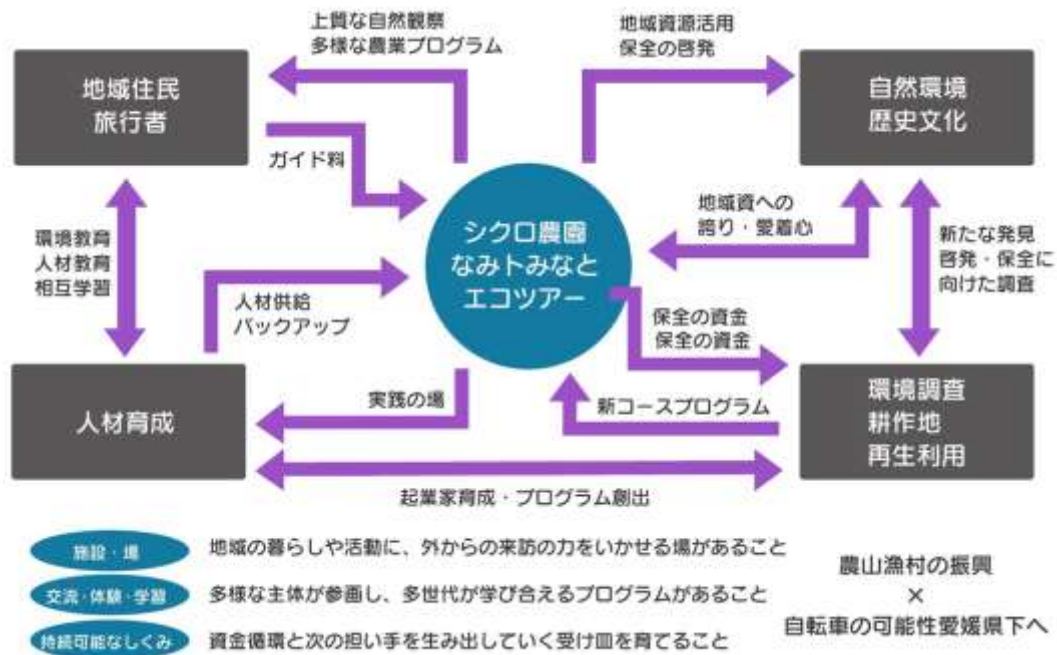
募集型モニターツアーには県外来訪者を迎える中、地元住民とサイクリストの交流を促す住民交流型のモニターツアーを行った。サイクリストの評価を伝え、住民にもその提供プログラムを体感いただく機会とした。時候柄、早生みかんの収穫時期となり、収穫体験をしながら、意見交換を行うことができた。耕作放棄地化する園地保有者、就農希望者の参加を得て、耕作放棄が増える中での里山保全へのチャレンジ活動への理解を共有できた。

2. 里山の恵みを活用したサイクルツーリズム造成事業～集客拠点の機能強化による持続可能な受入環境整備～ (愛媛県観光集客力向上支援事業)

自転車旅行者の受入による交流人口の拡大と地域経済への波及の展望について、里山の保全、コミュニティの維持に資するサイクルツーリズムの造成と販売によるビジネスモデル確立を目指した。

① 機能強化に向けての拠点の整備

「なみかた海の交流センター」のカフェ機能を拡大し、「シクロ農園」等の周辺の園地から収穫できる農産物を活用する製造・加工所を設け、製品と合わせ加工品を販売する拠点として活用した。



② 製造加工商品、飲食メニューの開発と試験的な提供

「シクロ農園」(周辺園地を含む)の収穫物(ハーブ・野菜・果樹)を活用した加工品を開発した。

商品①エッセンシャルオイル

作付けしたハーブ、果樹から順次、オイルを抽出し、エッセンシャルオイルを瓶詰した。

運営している拠点において、アロマオイルとして使用するモニタリングを行った。

機材の設置

試作品づくり



商品②携行食

柑橘のおいしさをより多くの人に、季節を問わず堪能いただくことをベースに商品開発を検討した。

自転車旅行者が手軽さから利用する携行食の素材に使用し、普及を目指した。

商品③朝食用パン

地産地消の料理で朝食を愉しんでいただくこと、農山漁村地域の加工製造につながることをベースに商品開発を検討した。ゲストハウス宿泊者に朝食として提供するカフェメニューがないため、朝食用パンの開発をテーマに、手軽に食べられる「携行食」との素材共用を意識しての開発とした。



第一段階：専門家招聘

菓子製造技能士、愛媛6次産業プランナー、栄養士等を招聘し、評価、改善の指導を受けた。



第二段階：サイクリスト等によるモニタリング

県内外のサイクリストから商品への評価を得た。



③ 情報発信と販売形態のしくみづくり

加工、製造しやすい食材の作付、収穫などの農作業に来街者が参画できるしくみを模索しながら商品化した品々の販売に向け、ホームページ、機関紙製作による情報発信に着手した。継続的に「シクロ農園」「なみとみなと」への集客を確保し、地元プレイヤーを養成する取り組みを展開したい。

3. フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」運営管理事業

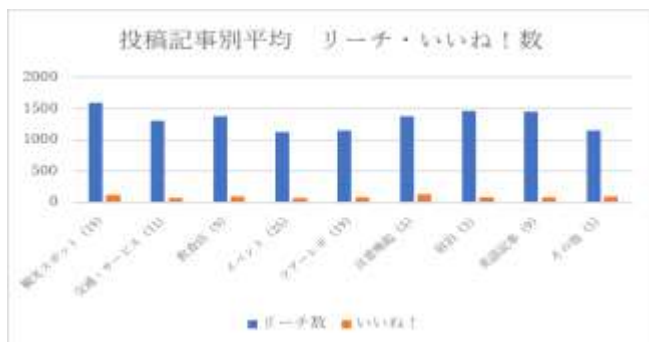
しまなみ海道周辺の情報発信および誘客ツールとして、フェイスブックページ「しまなみサイクリングパラダイス」を運営した。投稿毎に変動する「いいね！数」や「リーチ数」を分析し、読者の求める情報を考察しながら記事作成をした。「立ち寄りスポット」、「グルメ情報」、「おすすめのサイクリングルート」を幅広く掲載することで、サイクリングと合わせて楽しむコンテンツを提案したり、カメラ愛好者を意識し、「フォトジェニックスポット」の紹介をしたりして、しまなみ海道の多彩な風景美を楽しみながら、レジャーや旅行としてゆっくり地域を巡る魅力を発信した。今期は、しまなみ海道20周年のイベント等が企画、実施されており、その内容発信を行うことで、節目の年に来訪を促す、集客を目指した。

① カバー写真の更新

季節感を踏まえた瀬戸内海らしい景色、「フォトジェニック」な写真を意識し、月初めに一度更新を行った。4月に更新した「開山の桜景色」は「いいね！」「リーチ」共に獲得数が大きく、季節感や1枚で伝わる絵面のダイナミックさを考慮することがファン獲得に有効であった。

② 取材及び記事の投稿

現地取材を中心とした記事を投稿し、しまなみ海道及び周辺地域、関連性が高いテーマについて、新鮮な情報提供を行った。文章を簡潔にし、読み手に情報が伝わりやすいよう心掛けた。数ある情報の中から読者の関心を寄せるため、パターンの違う写真を複数枚、配列を考慮しながら掲載した。写真のインパクトがあるフォトジェニックな写真は、「リーチ数」や「いいね！」数の獲得が多くあった。また、ツアーレポートやサイクリングイベント等の情報を発信した結果、躍動的なサイクリングの魅力をアピールすることができた。



最も高いインプレッションを獲得した記事

リーチ数4,105 いいね！134

【生口島・島ごと美術館巡り】

生口島を自転車で走っていると、至る所に立体アート作品を見つけることができます。これらの作品は、約30年ほど前に開催された世界一小さなアートプロジェクト「瀬戸田ビエンナーレ」によって設置された17作品です。実際に作品にふれたり、いろいろな角度から見て、愛車と写真を撮ったり、見る人によって色々な楽しみ方ができる面白い作品の数々は一見の価値あります。

下記アートマップを参考に島ごと美術館巡りはいかがでしょう(^^)♪

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/.../attachment/3055.pdf>

公式ホームページはこちら↓

<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/44/2787.html>

#サイクリング #しまなみ海道 #生口島 #島ごと美術館 #みきゃん #Shimanami #Cycling #art



「フォロワー数（ファン数）」は3,263名（2020年3月31日現在）。2019年4月1日の時点では3,123名だったため、今期では140名のファン獲得をしたことになる。更に、年間平均の「フォロワー数」が安定数値であることから、当ページへの確実なファンの維持ができている。

4. 令和元年度外国人留学生サイクリング普及促進事業

①スポーツサイクル体験教室

外国人留学生を対象に、自転車のルール、マナー、スポーツバイク乗車の際の注意点等の講習を行った。実際にスポーツバイク走行体験を行い、途中、ゲーム等も取り入れながら、スポーツバイクの魅力、安全な走行への意識啓発を行った。「スローサイクリング」ツアー参加へのモチベーションを醸成することできた。

日時：令和元年11月16日（土）13:00～16:00

会場：愛媛県庁本館前（松山市一番町4丁目4-2）他

参加者：外国人留学生15名・日本人ボランティア1名

i 講習



ii スポーツバイク走行体験



②スローサイクリングの企画・実施

中予地方局が別途実施する「私の中予サイクリングお勧めスポット」募集事業により応募のあったサイクリングで巡るお勧めスポット等を参考に、サイクリングコースを選定し、スローサイクリングを企画・実施した。インバウンド対策を念頭に、外国人に訴求する資源発掘、体験などのコンテンツ造成が目指される中、3つのツアーを企画。多彩なルート走行、文化的な体験等を通して、地元の人が気付いてない潜在的な魅力への気づきもあり、有意義だった。なお、サイクリング中の動画や写真は、SNSによる発信を依頼した。

日 時：令和元年11月17日（日）9:00～15:30

会 場：愛媛県庁本館前（松山市一番町4丁目4-2） から 中予地方局管内市町（松前市・砥部町・東温市）

参加者：外国人留学生17名、日本人学生（ボランティア）1名

A：松前編

整備されたサイクリング道をサイクリングし、松前町へ向かった。途中、田園風景を楽しんだり、松前島の公園でのんびりしたりしながら湧水の町の魅力を堪能した。近隣ながら、足を運んだことがないエリアにおいて、市民の暮らし、市民に親しまれるスポット等を発見できる有意義なツアーとなった。



ルート：愛媛県庁→愛媛県武道館→エミフル松前→ハンアリ→ファンガーデン→福德泉公園→有明公園→ひょうたん池公園→重信川河川内サイクリング道→愛媛県庁

距離：約27.5km

参加者：留学生4名

B：砥部編

松山市内を抜けて、砥部町方面へと南下した。重信橋を越えて砥部町に入り、長閑に広がる田園風景を楽しみながらサイクリング。途中、サイクルオアシス「パン工房モンタナ」へ。美味しいパンを食べながら、地元の方との交流を楽しんだ。いよいよ楽しみにしていた「砥部焼絵付け体験」。地元の酒蔵「初雪盃直売所」にお迎えいただき、砥部の魅力を大満喫。5感を使って砥部の魅力を味わうツアーとなった。

ルート：愛媛県庁～重信橋～モンタナ砥部店～初雪盃直売所
～村の駅五本松～ハナミズキ通り～愛媛県庁

距離：28.2km

参加者：留学生5名・ボランティア1名



C：東温編

松山市内から重信川沿いのサイクリングロードを遡行し、東温市を巡った。奥松瀬川区の住民手づくりの拠点「ほっこり奥松」から講師を迎え、竹を加工する伝統工芸にチャレンジした。竹を使って、色々な作品作りを楽しむことができるが、今回は短時間で制作できる「箸置き」づくりを行った。想像以上に難しく、製作中は真剣そのもの。出来上がった温かみのある作品、そして講師との交流はいい思い出となった。



ルート：愛媛県庁～重信川サイクリング道～レスパスシティー（老香港菜館）
～横河原ぷらっと HOME（ほっこり奥松による出張教室）～日尾八幡神社～愛媛県庁

距離：約30km

参加者：留学生6名

5. ランニングバイクによる啓発事業

未就学児を対象に自転車の楽しさを伝える遊び場「自転車ヒロバ」をオープンした。親子三世代が集う場づくりを行い、ヘルメット着用などの安全な自転車乗車を啓発した。

① 自転車ヒロバのオープン

(1) なみかた海の交流センター（主催）

夏休みのスタートと合わせ「自転車オープン」。賑わいづくりにつながる取組に地元の評価を得た。

日時：2019年7/28（日）8/4（日）11（日）18（日）25（日）9/22（日）29（日）10/6（日）11:00～14:00

計8回 ※9/22（日）は「しまなみ温泉 喜助の湯」会場（雨天のため中止）

人数：幼児～小学校低学年 延べ 約400名

※「自転車ヒロバ」開催と合わせ、シーカヤック体験の企画。外部講師を招聘し、瀬戸内海の潮流を体感する「90分体験ツアー」を提供した。

日時：2019年8/3（土）4（日）

人数：延べ6名

(2) 新来島ドック

第14回新来島感謝祭への出張。

2019年11月23日（土）

人数：幼児～小学校低学年 延べ 約600名

(3) 自転車わしゅい

第3回スポーツ日の丸キッズへの出張。

2019年11月23日（土）

人数：幼児～小学校低学年 延べ 約150名



② しまなみランニングバイク選手権の開催

上記ヒロバ活動を訪れる幼児の目標となる選手権を開催。水軍の海城、潮流などの瀬戸内の海を体感できるサーキットコースを整備し、開催した。県外来訪も得て、大きな集客効果を発揮した。

日時：2019年11月3日（日）9:30～15:00

人数：選手（2歳～6歳の未就学児）201名

一般来場700名



③ レインボーハイランドカップ第4戦 しまなみランニングバイク選手権2020

未就学児に自転車の楽しさや交通規則の周知を体験型で学ぶ企画「レインボーハイランドカップ第6戦 しまなみランニングバイク選手権2020」を開催した。今年も、自然の中で様々な体験活動ができる施設「松山市野外活動センター」の芝生広場をいかし、特設コースを設置。県内外から訪れてくれた186名の選手を迎えた。県内参加者を中心にリピーターの参加もあり、6年目を迎え、地元で認知されるイベントとして定着しつつあることを感じた。2020年（令和2年）は東京オリンピック・パラリンピックが開催される「オリンピックイヤー」である。スポーツへの関心が高まる中、親子、さらには三世代がアウトドアで自転車に親しむ時間を共有できたことを喜ばしく感じている。大きな山あり、トンネルありの特設コースを懸命に駆け抜け、ゴールした子ども達には笑顔があった。勝ち負けだけでなく、身体を動かす楽しさ、一緒に走る面白さ、そしてそれぞれに達成感を感じられる一日をお過ごしいただけたと感じている。

日時：2020.2/23（日）10:30～16:30

人数：選手（2歳～6歳の未就学児）186名・一般来場800名

(年齢別のレース)



(ステージイベント・ブース運営)



6. なみかた海の交流センター管理運営事業（今治市委託事業/3か年事業）

1階の交流スペースを活用し、展示機能「自転車旅行博物館」、飲食提供「シクロカフェ」を行ってきた。また、未就学児を対象にした「自転車ヒロバ」、住民の健康増進プロジェクト「しまなみアウトドアフィットネス」等、各種プログラム提供による集客を図ってきた。一定の効果はあるものの、安定した収益源確保には至っていない。カフェ機能の強化によりサイクリング途中の休憩・ランチタイムを過ごせる居心地のいい空間とサービスの創出と合わせ、2階の一部を活用し、宿泊機能を加えた運営を行うことを目指し、準備を進めた。

7. 地域限定旅行業

地域資源の活用、住民との交流を促進するため、ガイドツアーを催行。自転車旅行者のニーズに対応するため、宿泊や交通を組み合わせた着地型旅行商品を造成し、提供した。

① 募集型旅行

(1) 日帰り旅行

1. まちなか移住交流推進事業

(2) 一泊二日

■第6回シクロ女子旅（春）

2019年4月13日（土）・14日（日） 1泊2日
4/14：18名 4/15：19名 延べ27名

■第3回しまなみキャンプライド

2019年7月20日（土）・21日（日） 1泊2日
6名

■第7回シクロ女子旅（秋）

2019年11月9日（土）・10日（日） 1泊2日
11/9：20名 11/20：19名

■第10回タンデム自転車祭り

2020年3月21日（土）・22日（日） 1泊2日 24名



② 受注型旅行

個人オーダーメイドツアー、社員旅行等の団体オーダーメイドツアーを企画、主催した。

○内容：「ふるさと納税今治返礼品」として、しまなみサイクリングツアーを提供した。

実績：2019年4月18日（木）2名（今治市へのふるさと納税者個人旅行者/夫婦）

○内容：しまなみでの自転車の社員旅行、視察旅行等を個別にコーディネートした。

実績：2019年5月11日（土）13名（リョービ労働組合/社員の健康講座（サイクリング体験））

○内容：しまなみ海道サイクリングを子ども達だけでトライする体験サポートツアーを催行した。

実績：2019年6月23日（日）4名（子ども達だけのサイクリング体験）

○内容：しまなみ海道を始めて訪れる家族連れへのガイドツアーを催行した。

実績：2019年10月3日（木）4名（親子サイクリング体験）

③ ガイド派遣・オペレーション

旅行会社主催のツアーへのガイド派遣。

○ワープ松山 サイクルトレイン 10 周年記念ツアー

内容：サイクルトレイン運行 10 周年を記念し、乗車客へのしまなみサイクリングツアーのアテンド。

実績：2019 年 5 月 6 日(月) 16 名

○毎日新聞旅行

内容：関東方面のしまなみサイクリングツアーへのガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：2019 年 5 月 7 日(火)・8 日(水)/11 名

○SUPERNET TUORS（台湾）

内容：しまなみ海道サイクリング（来島海峡大橋）へのガイド派遣

実績：2019 年 5 月 14 日(火)/16 名・11 月 4 日(月)/4 名

11 月 11 日(月)/6 名・11 月 18 日(月)/10 名・12 月 22 日(日)/10 名

○瀬戸内しまなみ海道 20 周年記念事業 【阿部高嗣さんと巡るしまなみ海道ツアー】（

内容：伯方島を周遊するフォトツアーへのガイド派遣

実績：2019 年 6 月 2 日(日)/16 名

○地元石油商組合等の役員研修

内容：来島海峡大橋を走行し、自転車で盛り上がる地域の様子を体感するツアーへのガイド派遣。

実績：2019 年 10 月 30 日（水）11 名

○河原パティシエ・医療・観光専門学校モニターツアー

内容：ブロンプトンやEバイクを活用しての、地域振興につながるモニタリングツアーへのガイド派遣。

実績：2020 年 3 月 15 日（日）6 名

⑤ 自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」の受付事務。

○四国旅客鉄道株式会社 ワープ松山

内容：予約受付・JR 波止浜駅オペレーション

実績：春 20 回・秋 25 回

⑥ その他

●サイクリング・フォー・チャリティ 2019

内容：サイクリングを通して子供の教育格差の認知度を上げ、支援を必要としている子供達を応援する活動への協力。地元で活動する「鳥生地域食堂 れんこん」との交流、今治市から観音寺までのツアーアテンド。

8. 宿泊業「しまなみゲストハウス シクロの家」「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」

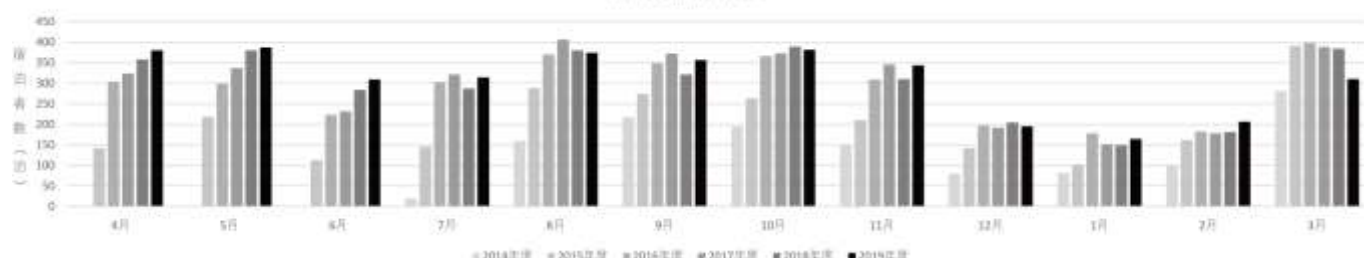
2019 年 7 月で「しまなみゲストハウス「シクロの家」」は開業から 6 年目、「Cyclo cafe & book Hostel なみトみなと」は 2 年目のシーズンを迎えた。しまなみ海道開通 20 周年となった 2019 年は、レンタサイクルを利用したレジャー目的での観光客や欧米豪からのインバウンドが増加、サイクリング拠点である「シクロの家」と「なみトみなと」には多くの旅行者が訪れた。



① 宿泊・立ち寄り利用実績

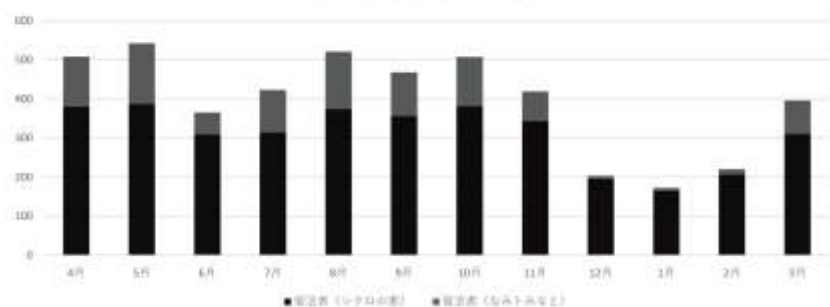
「シクロの家」(最大収容 14 名)の年間の宿泊者数は 3,719 名(泊)(2017 年度 3,618 名、2018 年度 3,627 名)で 2016 年度から安定して 7 割程度の稼働率を維持できており、過去最高の宿泊者数を記録した。サイクルオアシス総合拠点としての一時利用(カフェ利用を含む)は 818 名(2017 年度 520 名、2018 年度 623 名)と増加傾向。ガイドブックや地図・グッズの購入目的の立ち寄り多く、「しまなみ海道 0 km 地点」看板による誘客やホームページでの広報の効果を実感できる場面があった。

月別宿泊者数推移



一方で、「なみトみなと」(最大収容 16 名)のは宿泊ニーズの高い木曜日～日曜日を中心に限定的な宿泊営業を行った。営業日 216 日間で宿泊者数は 1024 名(泊)となった。営業日稼働率では 3 割程度と、閑散期の集客などに問題があるものの、6 名以上の団体宿泊や車載サイクリストの宿泊など、シクロの家とは異なるターゲットが宿泊している傾向もみられる。1泊2日型のツアー商品の宿泊先としての活用も行った。引き続き、宿泊施設の特徴を生かした訴求を進めていく必要がある。

宿泊者数推移(2019年度)



② 自転車旅行の拠点

「シクロの家」および「なみトみなと」では自転車旅行者のニーズに対応したサービスとして、自転車の室内保管スペースも兼ねる「バイク・セルフメンテナンslーム」、佐川急便の手荷物当日配送サービス「しまなみ海道手ぶらサイクリング」、自転車・手荷物の一時預かりなどを運用した。「シクロの家」では宿泊以外のカフェ利用やシャワー一時利用もあり、幅広い旅行者を受け入れる交流拠点としても機能した。

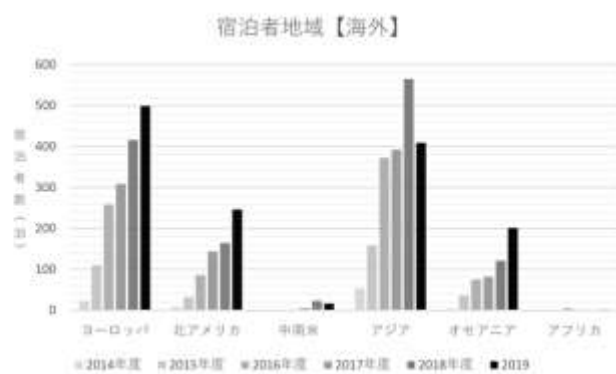
③ 情報提供・交流促進

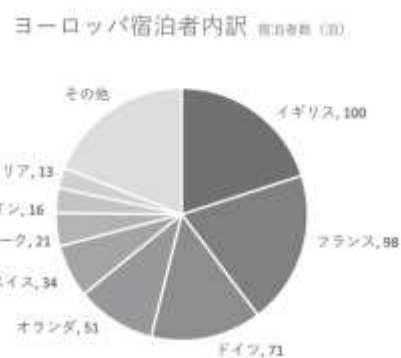
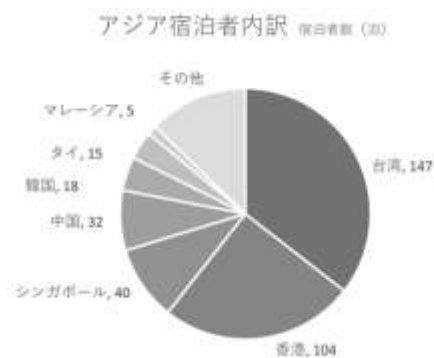
チェックイン時の町なか紹介ツール「散策マップ」や店舗情報ファイルなどのツールを更新し、「シクロの家」や「なみトみなと」で来訪者に地域の魅力を伝え、回遊を促進した。「なみトみなと」では早めにチェックイン後、地図の情報をもとに、波方・波止浜エリアの自転車散策に出かけたり、タンデム自転車の試乗を兼ねてエリアを周遊したりする宿泊者もあった。「なみトみなと」では飲食店を中心とした駅前の散策とは違った情報提供、交流促進ができるポテンシャルがある。不便な場所ではあるものの、長閑な瀬戸内の風景や絶景スポット、ローカルな商店など、「なみトみなと」ならではの魅力を PR していきたい。



「シクロの家」及び「なみトみなと」のプロモーションを、地域情報・イベント情報等の発信とともに行った。「シクロの家」「なみトみなと」の各ウェブサイト上で日本語・英語でのしまなみ海道サイクリング情報ウェブページの更新。しまなみ海道のニュースや店舗情報、スポット情報などは各スタッフでブログを更新し、Facebook、Twitter、Instagram、ブログでは定期的に安定感のある発信ができています。シクロの家のホームページは延べページビュー数が 300 万を記録した。

「シクロの家」宿泊者統計





9. 物品販売業

① 商品販売

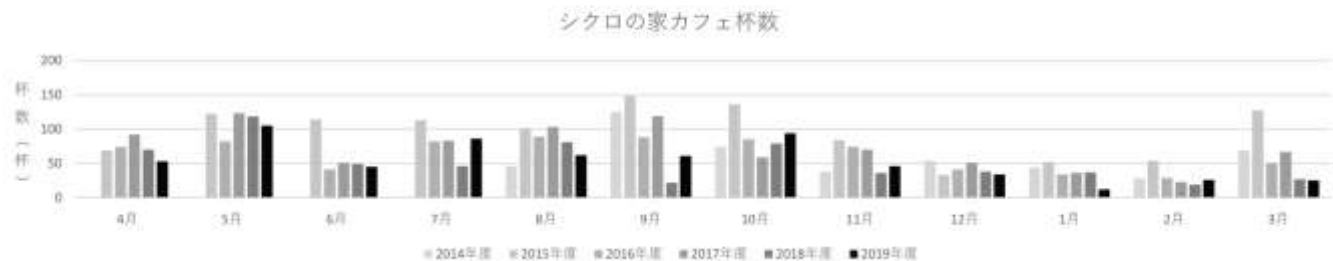
「シクロの家」のカウンター、「なみトみなと」のカフェスペースではオリジナルグッズやガイドブック・地図の販売スペースを設け、宿泊者や立ち寄り利用客に向けて販売をした。「島走 T シャツ」や「ガーゼマフラー」などの定番商品に加え、「しまなみ女子 T シャツ」や「あるあるメモ帳シリーズ」、「しまなみお便りセット」等が人気であった。宿泊ではなくグッズ購入目的での来訪も多数あり、日常的に自分のものとして使えるオリジナルサコッシュ等の人気を感じた。対面販売と合わせ、当会 HP でのインターネット販売を継続展開した。しまなみ沿線において、委託販売等の協力店舗を掘り起こし、特にしまなみ海道エリア内の道の駅等では専用の販売ラックを設置する等、販促活動を強化した。

② 商品開発

ゲストハウスやカフェ利用者との懇談の中で、しまなみの土産として訴求する可能性がある新商品を試行錯誤しながら、開発・販売した。手軽に購入できる単価（500 円程度）の商品として、メモ帳等の文具を充実させた。新たなグッズとしては「しまなみ 14 リンタオル」を発売、既存の商品である「島走サコッシュ」は新色をリリースした。ガイドブック「しまなみ島走 BOOK」は新たに出版した改訂版、また姉妹本である「しまなみ島走 PLAN」の販売も始めた。



なお、飲食部門としては、「シクロの家」カフェ&バーにおいて、ウェルカムドリンクとして柑橘ドリンクを提供。「シクロ果樹園」で栽培した柚子や梅を使用したドリンクを販売。談話室ではビスコッティやグラノーラバー、冷凍した自家製パンといった食品の製造・販売も開始した。「なみトみなと」では朝食メニューとして「自家製グラノーラ&ミルク」の提供も始めた。



10. 自転車まちづくり

①講師派遣

自転車による地域振興を進める機関等からの依頼に基づき、講師を派遣した。

2019 年 4 月 22 日(月)	愛媛大学法文学部 1 回生	観光による地域経済活性化について、事例を通して学生が学ぶ講義を担当。波及効果が高い観光産業により、地方都市を創生する視点について、地域資源を活用した取組から提案した。
2019 年 5 月 11 日(土)	異業種研修会	首都圏・関西圏を中心とする異業種による研修会の愛媛開催にあたり、まちづくりに事例として紹介。観光・交流による地方創生の意見交換の座学を進めた。
2019 年 6 月 6 日(木) 6 月 7 日(金)	天草地域雇用創出 協議会	天草市内の事業者を対象にサイクルツーリズムによる観光活性化の内容で講演。地域が主体的に取り組んできたしまなみの事例から、しくみづくりを共有。
2019 年 7 月 29 日(月)	愛媛県保健福祉部	愛媛県「三浦保」愛基金事業の成果について報告する会に出席。事業の概要等について、プレゼンテーションした。自転車による健康効用を全県下に進めるビジョンを提示した。
2019 年 9 月 26 日(木)	因島サイクルツー リズム振興協議会	集客増加の可能性があるサイクリストの受入体制づくり、隣接する島々とのネットワーク構築を目指した取組へのコンサルテーション。広域的な着地型観光商品造成への助言を担当。
2019 年 11 月 27 日 (水)	青森県サイクル・ ツーリズム推進協 議会	青森県において、サイクルツーリズム推進による観光広域、地域活性化を目指すにあたり、しまなみでの事例を紹介。域内のコース体験と合わせ、講義を担当。
2019 年 11 月 30 日(土) 12 月 8 日(日) 12 月 14 日(土)	愛媛県消防防災課	愛媛県内の大学生を対象に、自転車安全講習の実施。愛媛大学・松山大学・東雲大学の各周辺を走るフィールドワークのガイド、ワークショップの進行を担当。

2019 年 12 月 12 日 (水)	長野県観光誘客課	長野県の広域観光において、自転車を取り入れるにあたり、しまなみの事例を紹介。住民参画型の受入基盤整備、観光事業者との連携等のプロセス等、官民一体での取り組みを指南した。
2019 年 12 月 13 日(金)	(公財)えひめ地域政策研究センター	「地域政策研究セミナー」(シンポジウム・パネルディスカッション)に登壇。「地域づくり団体と行政との協働による地域創生」をテーマに、意識啓発や人材養成の必要性への討論を担当。
2019 年 12 月 21 日(土)	輪の国びわ湖推進協議会	琵琶湖におけるサイクルツーリズム推進シンポジウムに登壇。サイクルツーリズム推進のポイントを事例提供し、官民協働で地域の魅力を発信する検討へのアドバイスを担当。
2020 年 2 月 14 日(金)	仁王輪道事務局	大分県国東半島において、サイクルルートの策定事業を進める作業チームへの講義を担当。しまなみの事例を紹介すると共に、エリア内の担い手とワークショップを通して意見交換。
2020 年 3 月 8 日(日)	本州四国連絡高速道路(株)	将来に向けたしまなみ海道の更なる交流促進・地域活性化を目的に、「みらいへ」つながるしまなみ海道について語り合うフォーラムのパネラーとして登壇。

②視察受入

自転車を活用した地域活性化などについて、事前予約制で個別相談、視察を受け入れた。

2019 年 4 月 10 日 (水)	輪の国びわ湖推進協議会	「サイクルツーリズムの手引き～地域振興・環境保全・健康増進に向けて～」製作のための取材に協力し、当会の活動経緯と内容を伝えた。
2019 年 7 月 2 日 (火)	個人 筑波大学大学院	大学院の修士論文として「自転車道における私的建物を利用した休憩拠点の実態」をテーマに調査を進めるにあたり、「しまなみサイクルオアシス」の整備経緯、利用現況の説明。
2019 年 12 月 11 日 (水)	伊達市地域おこし支援員	伊達市の地域活性化方針の一つに自転車活用があり、自転車を活用した地域づくりの現場視察。当会の取組と自転車による地域変容の事例を紹介。

③ 審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

2019 年 4 月 18 日 (木)	今治市中心市街地再生協議会/ 今治市商工振興課	今治市中心市街地再生基本計画第 3 期の推進に関わる検討。定例総会への参加。
2019 年 6 月 1 日 (土)	瀬戸内しまなみ海道開通 20 周年記念式典/実行委員会	5 月 1 日をもって開通 20 周年を迎えるにあたり、記念式典が開催され、臨席。
2019 年 12 月 18 日(水)	しまなみ海道周遊観光ワークショップ/ 本州四国連絡高速道路株式会社	「瀬戸内企業ビジョン」を掲げ、観光コンテンツのバージョンアップ方策、広域周遊の促進方策について議論する WS への参加。
2019 年 12 月 25 日(水)	愛媛マルゴト自転車道活用推進会議/愛媛県東予地方局今治支局総務県民室	愛媛県が推進する「愛媛マルゴト自転車道」の活用による地域活性化、各市町連携による受入基盤整備の検討会への参加。

2019 年 12 月 25 日(水) 2020 年 3 月 3 日(火)	しまなみ地域サイクリストマナー向上推進協議会/愛媛県東予地方局今治支局総務県民室	しまなみ地域を訪れるサイクリストの交通ルールの順守やマナーアップへの意識向上対策に関して、取組の基本事項を検討する協議会への参加。
2020 年 1 月 28 日(火)	今治市自転車活用推進計画検討会議/今治市観光課	自転車の利用促進に関する基本的な考え方、施策の方向性等について意見交換し、今治市における自転車施策の指針を策定する会議への参加。

11. 会議に関する事項について

(1) 総会

① 第10回通常総会

日時：2019 年 4 月 27 日（土）13：30～ 会場：なみかた海の交流センター「なみトみなと」

議題：○2018 年度事業報告・収支決算報告の件

○2019 年度事業計画・収支予算の報告の件

(2) 理事会

第 1 回 日時：2019 年 4 月 27 日（土）12：30～ 会場：なみかた海の交流センター「なみトみなと」

議題：○2019 年度事業計画・活動予算の件 ○有給役員の件

○スタッフ給与の件 ○総会に付すべき事項の件

第 2 回 日時：2019 年 5 月 17 日（金）12：30～ 会場：今治市民活動センター（事務所）

議題：○集客力向上支援事業の件○シクロクルーの件○旅行業、宿泊業、出版業進捗の件

第 3 回 日時：2019 年 6 月 14 日（金）12：30～ 会場：なみかた海の交流センター

議題：○シクロクルーの件 ○平成 30 年度 外国人留学生へのサイクリング普及促進事業の件

第 4 回 日時：2019 年 8 月 13 日（火）12：30～ 会場：今治市民活動センター（事務所）

議題：○各種事業の件 ○集客力向上支援事業の件

第 5 回 日時：2019 年 9 月 18 日（水）12：30～ 会場：今治市民活動センター（事務所）

議題：○各種事業の件 ○外国人留学生へのサイクリング普及促進事業等進捗事業の確認の件

第 6 回 日時：2020 年 2 月 23 日（日）19：30～ 会場：今治市民活動センター

議題：○2020 年度事業計画の件

○2020 年度事業計画・活動予算の件 ○次年度の体制の件